

一般社団法人 日本応用地質学会

令和5年度・2023 年度

第 2 回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録

日 時 : 2023 年 7 月 27 日 (木) 15:00~17:30

場 所 : 香川大学 客員教授/MoU サテライトオフィス、Zoom を用いた Web 会議 (併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、野々村委員、濱田委員、安田委員、山下委員、山田幹事
委任状提出: 越谷委員、昆委員、徳楠委員、水野委員、百嶋委員、百瀬委員

陪席: 茶石顧問

オブザーバー: 長谷川元会長

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2023 年 5 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

2. 理事会報告

- ・令和 5 年度第 4 回理事会の内容について報告がなされた。
- ・「研究部会ユース」については、国際委員会が世話役として関わっていくことも検討する。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1) IAEG 事務連絡

1) IAEG XIV Congress 2023 関連

- ・Japan NG からの出席者を IAEG 事務局へ報告する。
- ・現地において、Seo・Ranjan の両 VP と話をする機会を設け、今後の活動方針(次期 VP 立候補、3巡目 ARC 開催(2031 年_第 18 回を日本で?)、アジア交流会(2025 年_高松?(ジオツーリズム?))を共有しておく。
- ・ARC3 巡目を日本開催(2031 年_第 18 回)からスタートすることを想定し、次期 IAEG アジア地区副会長立候補などを実現するためのロードマップを作成し、次回理事会に諮る。

2) IAEG アジア地域会議(アジアシンポジウム ARC)について

- ・14thARC(2024 年 2 月、マレーシア)への海外調査団派遣については、ARC 巡検に参加する形での開催とする方向で、次回理事会に諮る。

3) 他 National Group との交流について

- ・Seo・Ranjan の両 VP とは、IAEG XIV Congress 2023 において話をする機会を設け、今後の交流活動に関する意見交換を行う。

4) IAEG 事務局からの連絡(2023 年 5 月 中間役員会議について)

- ・連絡の内容について説明がなされた。
- ・「地質学と工学の総合力、応用地質学の進歩」に関連した話題について、今回の Japan NG 活動レポートに追記する。

5) Ranjan 副会長からの依頼

- ・YEG と WEG の代表選出について、Japan NG としては現時点では準備中として報告しておく。

6) JSEG 活動報告 関連

・2022－2023 活動報告案について説明がなされた。指摘事項を反映させたうえで、IAEG 事務局へ提出する。

7) IAEG Newsletter 関連

・2023 No.2 の発行内容について説明がなされた。
・2023 No.3 の投稿へ向けて、引き続き素材の収集準備を進める。

8) 国際会費の変更について

・本年末までに変更案の理事会承認を得るために、まずは現在の Without Bulletin 会員に対して、個別に会費変更の承諾を得るようにする。

(2) その他

1) 学会誌 Bulletin 紹介

・学会誌 10 月号での掲載予定記事の原稿について説明がなされた。
・次号(12 月号:9 月末までに原稿素案作成)の担当を決定した。

2) ダイバーシティ推進特別委員会

・令和 5 年度第 3 回委員会の議事録について説明がなされた。

3) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について(研究発表会_特別セッション開催)

・特別セッションについては、2024 年の研究発表会(高松)でも継続開催とする方向で進める。

4) 海外シンポジウム

・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。

4. ホームページ関係

(1) JSEG 英語版 HP

・適宜、掲示情報の更新を行う。
・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供(SNS)や写真集コーナー新設(HP)(災害調査団&海外調査団(ネパールと韓国はある?))などの対応準備を進める。

(2) JSEG 日本語版 HP

・適宜、掲示情報の更新を行う。

5. 海外情報の共有

・「海外アラカルト」講演(海外事業の紹介、留学生や海外技術者から見た国内事情など)について、今後も継続するために、まずは各委員にて候補者を選定する。

6. その他

・次回委員会(令和 5 年度_第 3 回)は、令和 5 年 9 月 11 日の週で開催する方向で調整する。なお、10 月の研究発表会(秋田)の開催期間中にも臨時開催を予定する。

以 上